

今月は西の空には見頃を終えようとしている春の星座、東の空に見え始めた夏の星座を見ることができます。まず、春の星座を探すには、北西の空、高いところにある7つの星を結んでできる「スプーン」のような形の星の並び『北斗七星』を探しましょう。北斗七星はおおぐま座の背中からしっぽに当たる部分です。そのしっぽのカーブを南へのばしていくと、オレンジ色に輝くうしかい座の1等星アークトゥルスがあります。うしかい座は「ネクタイ」のような形の星の並びが目印になります。さらにそのカーブをのばしていくと白く輝くおとめ座の1等星スピカがあります。おとめ座は「アルファベットのYの字」のような形の星の並びが目印です。北斗七星からアークトゥルス、スピカまでのばしたカーブを『春の大曲線』といいます。

次に、夏の星座を探す目印になるのは、ベガとアルタイル、デネブの3つの星を結んでできる『夏の大三角』です。北東の空に一際明るく輝く星が、七夕の織姫星として知られる、こと座の1等星ベガです。こと座は、ベガとその近くの小さな四角形の星の並びが目印です。ベガから少し東、天の川を渡って反対側にある1等星が、彦星として知られるわし座の1等星アルタイルです。わし座は、アルタイルとその両脇にある2つの星の並びが目印です。こと座のベガから北東に目を移すとくちょう座の1等星デネブが輝いています。くちょう座はデネブを頂点とする大きな十字の星の並びが目印です。

今月は、『春の大曲線』と『夏の大三角』をたよりに、春と夏の星座を探してみてはいかがでしょうか。

《7月の天文カレンダー》

日	暦	天文現象	日	暦	天文現象
3	木	● 上弦(4:30)	18	金	● 下弦(9:38)
4	金	水星が東方最大離角	25	金	● 新月(4:11)
11	金	○ 満月(5:37)			

【惑星の見え方】 (☆マークは、今月のおすすめです。)

水星 (0.4~4.8等前後)	: かに座→しし座付近	観望に適さない。
☆金星 (-4.1等前後)	: ふたご座→かに座付近	日の出前、東の空で輝く。
火星 (1.5等前後)	: しし座→おとめ座付近	宵の頃、西の低空で輝くが、中旬以降は観望に適さない。
木星 (-1.9等前後)	: おうし座付近	観望に適さない。
☆土星 (0.8~1.0等前後)	: うお座付近	日の出前、南東~南の空で輝く。

注目の天文現象(7月) ~月が土星と金星に接近~

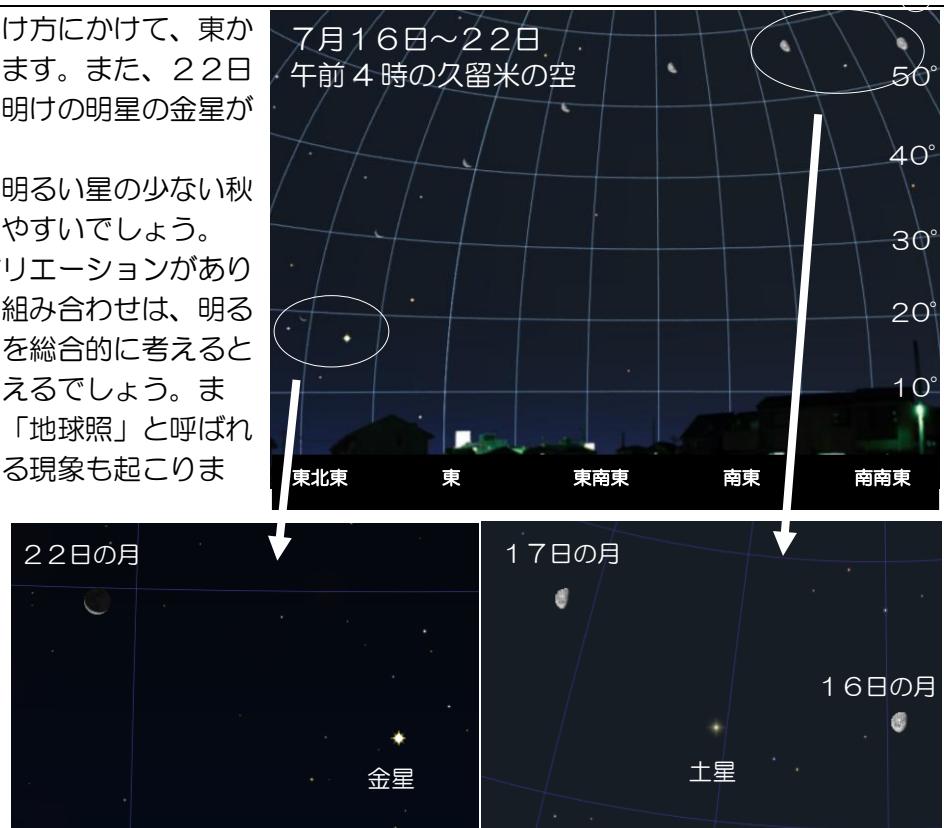
7月16日、17日の未明から明け方にかけて、東から南東の空で土星と月が並んで見えます。また、22日の明け方には、月齢26の細い月と明けの明星の金星が並んで見えます。

土星の明るさは1等ほどですが、明るい星の少ない秋の星座の領域にあり、比較的見つけやすいでしょう。

天体同士の接近現象には様々なバリエーションがありますが、その中でも細い月と金星の組み合わせは、明るさや分かりやすさ、空の色合いなどを総合的に考えると最も美しく、見応えのある共演といえるでしょう。また、この数日で見られる細い月は、「地球照」と呼ばれる月の暗い部分がぼんやり明るくなる現象も起こります。この地球照は、時間的には、宵空の方が見やすいでしょう。しかし、明るく輝く惑星たちとの共演が見られる夜明け前の空でも、私たちの目を楽しませてくれるこ

とでしょう。

ぜひ、早起きして、観察してみてはいかがでしょうか。



【ステラナビゲータ 11/株式会社アストロアーツ】

《天文イベントのご案内》

☆市民天体観望会 7月19日(土) 20:00~21:00 要予約

「夏の二重星とおりひめ星・ひこ星を探してみよう」

■対象: どなたでも(ただし中学生以下は保護者同伴) ■定員: 100名

■参加費: 無料

■予約: 7月5日(土) 9:30から、オンラインにて受付。



ご予約用QRコード

○オンラインでの予約受付について

- ・イベントのご予約は右のQRコード、または当館ホームページよりお願いいたします。
- ・ご不明な点がございましたら、来館またはお電話にてお問い合わせ下さい。(☎0942-37-5566)

